



資本が企業への投資を得ることについて

令和7年6月5日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界における資本は、その自己運用を金融とともに有し、企業の株式の取得をそのグローバル経済において模索するものである。

これらはグローバル経済の現実であり、資本は国境を越え、そのグローバリゼーションにおける経済の統一を行うものである。

これらは高いビジネス理解とグローバル基準という投資基準を有し、その自己の目的や利益において世界の企業への投資を模索するものである。

これらが資本と経済の新しい現実がグローバリズムとともに存在し、その資本が世界経済の統一を模索できるものであるという現実を理解できるのである。

これらがグローバリズムという新しい世界の潮流であり、資本はその自己の投資を世界において模索するものである。

またこれら現実今日の世界の先端性と常に共にするものであることは理解されなくてはならない。

これら資本主義と自由経済という世界の合意は、経済それ自体が新しい世界の創造を実現しているのである。

これら資本主義においては資本がこれを支配するのである。これが経済の本質であることは今日のグローバリズムの下、理解されなくてはならない。

金融経済という巨大資本は、経済の所有を可能とするものである。そしてそれが株式市場における真実なのである。

これら世界のグローバル化は、金融経済における統一を有するものであり、資本がそれを所有し模索することは、その巨大な資本が新たな利益の追求において未来を決定することが存在するのである。